

神奈川県身体障害者連合会会報

身障かながわ

発行 (公財)神奈川県身体障害者連合会
会長 戸井田 愛子
〒221-0844
横浜市神奈川区沢渡 4-2
電話 045-311-8736 FAX 045-316-6860
編集 「身障かながわ」編集委員会
編集委員長 新井 修身
印刷 (社福)光友会 神奈川ワークショップ

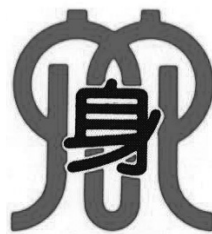
- 第62回神奈川県身体障害者福祉大会①
第17回全国障害者スポーツ大会派遣選手決まる②
ふじさわパラスポーツフェスタ(藤沢市)③
中井町身体障がい者福祉協会(中井町)③
富士登山報告④
デフリンピックについて④
第9回神奈川県障害者文化・芸術祭案内④
さんぼみち(二宮町)⑤
みんなの広場(海老名市)⑤
希望郷いわて大会に参加して⑥
県身連事業予定(10月~1月)⑥
編集室から⑥

大会宣言

(前文省略)

- 一、私たちは、障害者権利条約理念に基づく障害関連のあらゆる分野が着実に施行され、障害者の権利の保障が図られるよう、働きかけていきます。
一、私たちは、障害者や障害関係団体の意見が十分に反映された差別禁止条例の制定に向けた取り組みが進められるよう、働きかけていきます。
一、私たちは、障害者の防災対策や避難所における対応など、災害時の障害者への支援体制の充実が図られるよう、働きかけていきます。
一、私たちは、いつでもどこでも安心して暮らせる地域社会を築くために、関係者との連携を強めながら、自らの力を十分に発揮するよう努力します。

平成二十九年十月十五日(日)
第六十二回神奈川県身体障害者福祉大会が、海老名市文化会館を会場に開催されます。
発行日と大会日が同日のため表彰者・大会宣言を掲載させていただきます。次号にて大会の内容を記事に致します。



神奈川県知事表彰(敬称略)
○自立支援功労者

龍崎 健雄(平塚市)
崎原 キミ子(厚木市)

県身連会長表彰(敬称略)

○表彰

初山 三輪子(鎌倉市)
太田 克之(茅ヶ崎市)
渡邊 孝子(逗子市)

○感謝状

小林 麗子(海老名市)
尾上 良雄(中井町)

宇都木 茂(相模原市)
大館 義廣(秦野市)
内海 仲悟(厚木市)
小黒 稔(厚木市)
高橋 ミヤ(大和市)
佐藤 みよ子(海老名市)
小林 モト子(海老名市)
萩野 きわ子(愛川町)
大矢 美代子(愛川町)
原 和子(愛川町)
天野 光(真鶴町)

第六十三回 神奈川県身体障害者福祉大会

期日 平成三十年十一月十八日(日)
会場 南足柄市文化会館

第17回全国障害者スポーツ大会

「^{えがお}愛顔つなぐえひめ大会」派遣選手決まる!



《神奈川県派遣選手》

○身体障害者競技選手

【陸上競技】

名前(ヨミ)	市町村	区分
多美瑛(オオノ ヨシエ)	鎌倉	聴覚
阿部博敏(アベ ヒロトシ)	藤沢	聴覚
佐々木啓介(ササキ ケイスケ)	藤沢	肢体
甘粕明(アマカス アキラ)	小田原	肢体
坂田慎一(サカタ シンイチ)	厚木	視覚
笹原幸英(ササハラ ユキヒデ)	伊勢原	肢体
大竹博(オオタケ ヒロシ)	海老名	肢体
南館康寛(ミナミダテ ヤスヒロ)	海老名	肢体
中川英雄(ナカガワ ヒデオ)	綾瀬	聴覚
久野陽子(ヒサノ ヨウコ)	寒川	視覚

【水泳競技】

伊佐治正幸(イサジ マサユキ)	藤沢	聴覚
井下昭二(イノシタ ショウジ)	秦野	肢体
金子弘子(カネコ ヒロコ)	大和	肢体

【卓球・STT】

坂田学(サカタ マナブ)	藤沢	視覚
小田桐秀成(オダギリ ヒデシゲ)	小田原	肢体
奥村志津子(オクムラ シツコ)	海老名	肢体
山根英夫(ヤマネ ヒデオ)	寒川	視覚

【フライングディスク】

長谷川薫(ハセガワ カオル)	小田原	肢体
桐生佳治(キリュウ ヨシハル)	秦野	肢体
飯野定良(イイノ サダヨシ)	海老名	視覚
澁谷貴志(シブヤ タカシ)	寒川	肢体

【アーチェリー】

和田雄一(ワダ ユウイチ)	横須賀	肢体
---------------	-----	----

○知的障害者競技選手

【陸上競技】

名前(ヨミ)	市町村
荒木裕介(アラキ ユウスケ)	小田原
梅若舞(ウメワカ マイ)	小田原
筒浦優太(ツツウラ ユウタ)	小田原
田中義信(タナカ ヨシノブ)	秦野
栗屋尚貴(アワヤ ナオキ)	大和
柿本空斗(カキモト クウト)	大和
平野りほ(ヒラノ リホ)	大和
大野隆斗(オオノ リュウト)	伊勢原
谷口辰美(タニグチ タツヨシ)	伊勢原
山口遼(ヤマグチ リョウ)	伊勢原

【水泳競技】

佐々木雅広(ササキ マサヒロ)	鎌倉
陳長豊(チン チョウホウ)	海老名
東亭瞳(アツマテイ ヒトミ)	湯河原

【卓球・STT】

宮内良(ミヤウチ リョウ)	厚木
小幡光輝(オバタ コウキ)	伊勢原

【フライングディスク】

井上雄輔(イノウエ ユウスケ)	横須賀
石橋智美(イシバシ トモミ)	南足柄
木戸郁穂(キド イクホ)	南足柄
鈴木駿(スズキ シュン)	開成

【ボウリング】

納勝次(オサメ カツジ)	藤沢
落合祐樹(オチアイ ユウキ)	藤沢
大國麻由美(オオクニ マユミ)	南足柄
伊藤雅男(イトウ マサオ)	開成

【団体競技 知的女子バスケットボール】 ※<>内は市町村名

吉田美沙(ヨシダ ミサ) <横浜>	白川原飛鳥(シラカワハラ アスカ) <横浜>
岸カイル(キシ カイル) <平塚>	篠田佳南(シノダ カナ) <横浜>
高木舞子(タカギ マイコ) <茅ヶ崎>	中野友莉(ナカノ ユリ) <三浦>
狩野愛捺(カノウ アイナ) <大和>	田中麗奈(タナカ レナ) <横浜>
牧本友梨江(マキモト ユリエ) <横浜>	齊藤茉由華(サイトウ マユカ) <平塚>

《相模原市派遣選手》

【陸上競技】

名前(ヨミ)	市町村	区分
芥川文男(アキタガワ フミオ)	相模原	視覚
吉田栄子(ヨシダ エイコ)	相模原	肢体
霞岡博司(ヨシオカ ヒロシ)	相模原	聴覚

【水泳競技】

鈴木康彦(スズキ ヤスヒコ)	相模原	肢体
----------------	-----	----

【卓球・STT】

石井強(イシイ ツヨシ)	相模原	肢体
--------------	-----	----

【フライングディスク】

霞岡栄美子(ヨシオカ エミコ)	相模原	聴覚
出口忠則(イデグチ タダノリ)	相模原	聴覚

【陸上競技】

名前(ヨミ)	市町村
田中秀太(タナカ シュウタ)	相模原
井上知奈美(イノウエ チナミ)	相模原
島田輝(シマダ ヒカル)	相模原
横谷好彦(ヨコヤ ヨシヒコ)	相模原
菅野怜央(スガノ レオ)	相模原

【水泳競技】

佐藤友愉(サトウ ユウユ)	相模原
松井拓也(マツイ タクヤ)	相模原

【卓球・STT】

後藤真人(ゴトウ マサト)	相模原
---------------	-----

【フライングディスク】

石塚遼(イシヅカ リョウ)	相模原
---------------	-----

ふじさわ パラスポーツフェスタ

藤沢市 種田 多化子

今から三十年前、右足の腓骨に骨腫瘍ができ切除手術を受けましたが、再発を繰り返して膝の上を切断して義足で生活しています。十年後、体力の衰えを感じ、藤沢市の広報

市町村のページ

「ふじさわ」で障がい者のスポーツの場を探して、卓球を始めました。卓球はうまくないけれど、体力が回復し、人と出会うことによつて元気になることができました。障がい者としてスポーツを楽しむながら障がい者の団体活動を行っています。八年前より藤沢市の「健康づくりネットワーキ」の一員として

「健康」のイベントに参加しています。障がい者として健康を考えた時、頭に浮かんだのはスポーツでした。そのため、昨年は「藤沢 障がい者バリアフリースポーツ体験会」を企画し、自分

スポーツ五種目の指導者の方々に協力してもらい、藤沢市のスポーツ推進課・スポーツ事業部の協力を得て、開催しました。関係者の交流・連携を図ることはできましたが、一般市民の参加がなかつたことが残念でした。今年度はパラリンピックの機運もあるため、昨年の事業を発展させて藤沢市の事業として「ふじさわパラスポーツフェスタ」を開催する計画になりました。スポーツ事業部のイベントとコラボして各種目の担当者と四月より実行委員会形式で話し合いを重ね、体験できる種目も十二種目と増え、九月十七日（日）に開催する運びとなりました。この新聞が発行される頃には終了していますが、多くの市民の方に体験していただき障がい者理解の啓発が進むことを願っています。

**ふじさわ
パラスポーツフェスタ2017**
9月17日(日)11時~16時 参加無料

会場 秩父宮記念体育館 ※運動しやすい服装・室内シューズ
履下をお持ちください。

パラスポーツ体験 パラスポーツを体験してみんなが笑顔に♪

車いすバスケ ケアランボリン ボッチャ
車いすバレー フラインドサッカー アーチERY

オープニング ・藤沢市消防音楽隊演奏 ・開会式
・ダンスパフォーマンス「はっばオールスターズ」
・チアリーディングショー「Creeks & Clovers」

体験(12時~) ・スタンフットー 先着順 オリジナルグッズプレゼント

東京2020オリンピック・パラリンピック啓発ブース・フライングディスク
フラインドサッカー・ローリングハレーボール・卓球・ボッチャ・義足体験
ケアランボリン・トランボリン・アーチェリー・スポーツ吹矢
車いすバスケットボール・車いす子スラローム・サウンドテーブルテニス 他

※スポーツフェスタ地域感察祭 同時開催(10時~)※
※スポーツクイズ体験 他

※県民スポーツ日向開通事業

主催 藤沢市、ふじさわパラスポーツフェスタ2017実行委員会
問合せ (公財)藤沢市みらい創造財団 スポーツ事業課 秩父宮記念体育館
TEL 0466-22-5335 FAX 0466-28-5749

中井町身体障がい者 福祉協会

中井町 加藤 充一

中井町身体障がい者福祉協会は、昭和三十一年四月に設立され、今年で六十一年を迎えます。当協会では、地域として足柄上郡の方々と活動が多く、交流を深めております。

中井町は、自然が多く残された里山として、環境が抜群に良い場所です。また、自然が豊かなため、野生の動物が多く生存しています。

年間行事としては、県主催の富士登山を始め、中井町社協主催の落語や音楽鑑賞に親しむ笑福会、大井町との交流の伊豆方面の日帰り旅行、会員交流のレクリエーション、上郡主催のボーリング大会、社協の賀詞交歓会、社協主催の日帰り研修会、南足柄のろうあパークゴルフ大会など企画・実施されています。

現在、抱えている問題点としては、会員の減少です。会員の高齢化に加え、若い人達が入会していただけないことです。魅力のある環境をいかに創り上げていくかが、永遠の宿題です。障がい者同士が、コミュニケーションを取り合い、仲間として寄り添い、気持ちよく楽しくなるようにしていくことが大切だと思います。このような心がけで、



日々私は楽しく社会参加に努めています。障がい者に対する配慮に期待することがあります。それは、バリアフリー用の駐車スペースに多くの健常者が平然と駐車していることに驚かされます。私は、電動車椅子を運転して旅行や買い物などに足を運ぶますが、車を駐車することが出来ず困ることがあります。海外の方が見たらどう思われるでしょうか。三年後には、オリンピック。パラリンピックが開催されます。一人一人の心遣いで、色々な世界が広がります。みんなで考え、一歩踏み出し取り組んで行きましょう。

富士登山報告

県身連 城重 隼人

今年も七月十二日(水)に身体障害者富士登山を実施しました。参加者は総勢百二十四名、バス四台で集合場所の富士山世界遺産センターに向かいました。全台が到着後開会式を行い、終了後富士山五合目へ向けて出発しました。出発時の天気は快晴で、五合目に近づくと折山頂が見えるほどでした。

事業案内・報告

五合目到着後、登山目標事集まり、そろった班から登山を開始しました。五合目に到着した時には、太陽の光が照りつけていましたが、出発してしばらくは雲に覆われて、太陽が見えなくなりました。そのため、麓の景色は何も見えませんでした。十二時半を目安に昼食を取り、七合目登山目標のグループは六合目と七合目の中間地点で昼食時間を取りました。下山する時には、登山開始時と比べさらに雲に覆われましたが、雨が降らなかつた事が幸いでした。十四時に登山終了し、五合目レストハウス前に集合。十四時半に四台全てのバスが富

士山五合目を後にし、全てのスケジュールが終了しました。例年実施してきた富士登山ですが、今年度よりバスの借用代が値上がりし、予算の中で行う事が厳しい状況になりました。今回参加者に三択のアンケートを行いました。内容は、①参加費を上げて富士山へ行く。②参加費を変更せず違う場所へ行く。③実施しない。参加者の意見は③が多数でした。この富士登山について来年度実施するかどうかは、今年度末に決定する予定です。

みなさんデフリンピックをご存知でしょうか。デフリンピックとは、身体障害者のオリンピック「パラリンピック」に対し「デフリンピック」は、ろう者のオリンピックとして、夏季大会は一九二四年にフランスで、冬季大会は一九四九年にオーストリアで初めて開催されています。

「デフリンピック」について

デフリンピックへの参加資格は、補聴器や人工内耳の体外パーツ等(以下「補聴器等」という)をはずし

【表敬訪問】



た状態で、聴力損失が五十五デシベルを超えている聴覚障害者で、各国のろう者スポーツ協会に登録している者とされています。また、競技会場に入つたら練習時間か試合時間かは関係なく、補聴器等を装用することは禁止されています。これは、選手同士が耳の聞こえない立場でプレーするという公平性の観点によるものです。

直近の大会は、今年の七月十八日から三十日にかけてトルコ共和国・サムスンにおいて「第二十三回夏季デフリンピック競技大会」が開催されました。この大会に出場した県内在住の選手とスタッフの県知事・教育長表敬訪問が、八月二十九日(火)に行われました。

今回のデフリンピックでは、日本選手団は金六個、銀九個、銅十二個の計二十七個のメダルを獲得し、県内在住の選手も一人が金と銅メダル三個ずつ、四人が金メダル、二人が銅メダルを獲得するという素晴らしい成績を収めました。これをきっかけに、県民の皆さんにデフリンピックについてもっと知ってもらいたいと思っております。

第九回神奈川県障害者文化・芸術祭

今年度の文化・芸術祭は、十二月九日～十日にかけて、伊勢原市民文化会館にて開催いたします。この文化・芸術祭は、障害者が地域で活動している音楽・ダンスなどの発表と書道・写真・絵画・手芸などの展示をしています。日ごろから活動している障害者の文化活動の成果を発表する場として実施してまいりますので、是非皆さんでお越しください。

【会場】

伊勢原市民文化会館
小ホール・展示室
伊勢原市田中三四八番地
※入場は無料です

【日時】

12/9 土 展示室 十時から十六時
12/10 日 展示室 十時から十五時
小ホール 十時から十五時

《推進センター事務局》

出演・出展に関する問合せは、
神奈川県障害者社会参加推進センターまでお願いします。
TEL 〇四五-三一一八七四四
FAX 〇四五-三二六一六八六〇

さんぽよち

「長寿の里」二宮町

二宮町 相原 みどり

二宮町は、昔より「長寿の里」として知られています。

その理由は、昭和初期に自然環境や生活環境などを背景に「住みよい町」であるということが報道されたことによるものです。

そんな二宮町の紹介ですが、電車を降りると「朧月夜」の発車メロディが皆さんをお迎えします。

その二宮駅の北口を出ると目前に吾妻山（標高百三十六・二メートル）があります。この吾妻山には吾妻神社があり、古代、日本武尊と弟橘媛命の深い愛にまつわる神社として言い伝えられており、また、山頂付近は、県内外からも多くの観光客が来園する公園として整備されています。頂上の展望台からは三百六十度パノラマ（箱根や丹沢の山々・伊豆半島・相模湾・そして富士山など）の絶景が広がり、特に一月から二月にかけて咲く「菜の花」が有名で、他にも四季折々に桜やコスモスなど、一年を通して楽しめる公園となっています。

吾妻山公園の他にも、駅から歩

いて十分程度の距離に、遊具を備えたラディアン花の丘公園や、のんびりくつろげる果樹公園、町の北部には花菖蒲（六月上旬）や天然のホタル（五月下旬）が自慢のせせらぎ公園があります。公園以外にも、駅南口前には戦争の悲劇を忘れまいとして「ガラスのうさぎ像」が建立され、また、町内には洋画家の二見利節氏の記念館や徳富蘇峰記念館などといった文化・歴史にも触れることができる町です。

ここのとこ徐々に知名度もあがってきた二宮町ですが、PRキャラクターの二ノノ&ミーヤが皆様をお待ちしていますので、ぜひ、一度遊びにいらしてくださいと思います。

詳しくは、観光マップをご覧ください。また、吾妻山山頂などからドローンを使用して撮影した動画も公開中です。ぜひそちらもご覧いただければと思います。

【ドローン撮影】



【観光マップ】



©東京ハイソノ二宮町

【二ノノ&ミーヤ】

みんなの広場

春と冬の四者研修会

海老名市 飯野 定良

海老名には「山びこの会」（視覚部）と誘導ボランティア「虹の会」と、音声訳ボランティア「矢ぐるまの会」と、点訳グループ「みりの会」があります。

四者で、春は外の研修会があり、一グループ七人、八人で四、五グループ作り、多い時は、九グループを作り電車、バスで移動しています。電車では、小田原の鈴廣かまぼこ博物館でちくわ手づくり体験を楽しみ、バスでは海老名サーブエリア（EX P A S A 海老名）を見学し、お弁当など買って近隣のコミュニティセンターで食事後ゲームを楽しみました。

今年、サウンドテーブルテニス体験で山びこの参加人数が五人くらいで五グループでダブルスを時間制三十分交替で体験して頂き、他に場所を移して食事を楽しみました。そのあとゲームを楽しみました。

冬はボランティアさんを含めて総勢七十五名の参加者でした。総合福祉会館娯楽室で午前は、

来賓のあいさつの後に落語（悪徳商法）、楽器演奏（プサルタ）、時には手づくり楽器演奏で楽しみました。午後からは親睦会を兼ねてイントロゲーム他いろいろなゲームをして楽しみました。

この頃は高齢化と共に春の四者研修会の参加者人数が減少して、春の研修会の予定が組めなくなるのが役員の悩みのタネになつていのが今の現状です。

駅の近くで見学か体験場所をご存知の方は、教えていただければ各役員で検討させていただきますのでどうぞよろしくお願ひします。



県身連事業予定

<10月>

- 5日(日) 肢体部役員会(県社会福祉会館)
- 8日(日) 全国障害者スポーツ大会神奈川県・相模原市選手団強化練習会(麻溝公園競技場ほか)
- 11日(水) 肢体青年部野外活動(横浜にぎわい座)
- 15日(日) 第62回県福祉大会(海老名市文化会館)
- 17日(火) 身障かながわ編集委員会(県社会福祉会館)
- 17日(火) 社会参加推進協議会(県社会福祉会館)
- 28日(土) 第17回全国障害者スポーツ大会(愛媛県)
- ~30日(月)

<11月>

- 3日(金) 茅ヶ崎ふれあいまつり(茅ヶ崎市中央公園)
- 5日(日) 肢体部ダーツ大会(藤沢太陽の家)
- 5日(日) 視力青年部・スポーツ部共催ハイキング(鎌倉方面)
- 17日(金) 県精神障害者スポーツ大会バレーボール競技会(大和スポーツセンター)
- 19日(日) 視力女性部学習会(厚木シティープラザ)
- 21日(火) 肢体部研修会(伊豆潮風館)
- ~22日(水)
- 26日(日) 視力職業部研修会(平塚)

<12月>

- 2日(土) 県障害者スポーツサポーター養成講習会~3日(日)(けやき体育館)
- 3日(日) 肢体青年部クリスマス集(海老名市)
- 9日(土) 障害者文化・芸術祭(伊勢原市民文化会館)
- ~10日(日)
- 20日(水) 県精神障害者スポーツ大会ボウリング競技会(湘南とうきゅうポウル)
- 23日(土) 視力青年部ボウリング大会・交流会(平塚市)

<1月>

- 14日(日) 視力部団体長会議(座間市総合福祉センター)
- 20日(土) 県障害者スポーツサポーター養成講習会~21日(日)(横浜市戸塚スポーツセンター)
- 26日(金) 肢体女性部 研修会(藤沢市民会館)

※問い合わせ 電話:045-311-8736
045-311-8744

[推進センター]
FAX:045-316-6860

<http://kanagawa-kenshinren.or.jp/>

希望郷いわて大会に 参加して

鎌倉市 多美瑛おほの よしえ

私は人と話すのが苦手です。人の話していることが分からないのです。なぜなら、私は耳が聞こえないからです。だから、健聴者と会話をすることに少しだけ恐怖心を持っていました。私は陸上をしています。陸上大会だから行ってみたいは？と、顧問の先生に言われ県障害者スポーツ大会に昨年初めて出場しました。その結果、全国障害者

スポーツ大会の神奈川県代表に選出されました。岩手に行くにあたり、健聴者や他の障害者と一緒に一週間も寝食を共にするのは初めてでしたので、とても不安でした。そんな時、コーチたちが一緒に話そうと簡単な手話を覚えてくれました。また、同部屋になった他の障害者とは筆談や身ぶりでも話をしました。そこでは耳が聞こえる聞こえないに関わらず会話の中に入って話すことができました。大会六日間を通じて様々な人と交流することができて、あんなに不安がっていたのが嘘みたいにとっても楽しい時間を過ごすことができました。私はそれらを通じて人は十人十色でいいなと感じました。これをきっかけに支え合う優しさに気づき障害者スポーツについて学びたいと思うようになりました。それを学べられる学部のある大学への進学を考えると、これからは選手を続けると同時に、障害者スポーツの発展を支える側にもなりたいです。



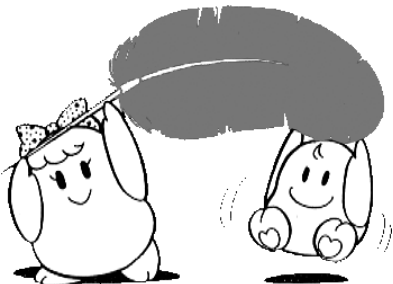
編集室から

ここ数年、好きなジャズを聴きに出掛けている。大いに楽しんでいる。また、今年は車椅子になって初めてのプロ野球観戦。段差もなくスロープも緩く結構良い席で、その後五回も出掛けた。

「身障かながわ」でデフリンピックのことを取り上げているが、障害者が活躍するスポーツを見に行きたいと思っている。三年後に東京で開催されるパラリンピックにもぜひ行きたい。多数の障害者が一緒に見られるように競技施設の整備を進めてほしい。

障害者自らが行動して、「身障かながわ」も含めて情報発信を継続していきたい。

編集委員 遠藤 伸一えんどう しんいち
(開成町)



この会報は、赤い羽根共同募金の配分を受けて発行しています。